

あきだわら(加工用米):兵庫県

ポイント

水稲新品種「あきだわら」は、良食味で玄米品質が良く、多収で、主食用米(コシヒカリ)との作期分散が可能である。

酒造工程における掛米として、米卸売業者を介して酒造会社に対し、安定的な品質・価格で継続的に供給するため、効果的・効率的な栽培方法の確立等を通じ、加工用米「あきだわら」の生産に取り組む。

あきだわら作付風景



加工用米(掛米)として契約栽培



コンソーシアム構成員

名称:ひょうご加工用米生産拡大プロジェクト

兵庫県

豊岡市

たじま農業協同組合

全国農業協同組合連合会兵庫県本部

株式会社神明

辰馬本家酒造株式会社

生産者

事業実施概要

取組前の産地の課題

- ・兵庫県豊岡市は、平成16年の台風により被災し、災害復旧後、25年度から順次農地が返還されたが、10年にわたる貸出しにより営農意欲は減退していた。
- ・地域農業の継続のためには米生産の継続・活性化が必要との認識の下、人・農地プランの作成を働きかけ、地域の中心経営体への農地集積を実現した。
- ・主食用米偏重からの脱却を目指し、加工用米「あきだわら」の試験的栽培に着手した。

販売額 1.7億円(25年度)
農産物(酒米)と加工品(清酒)の販売額
・生産量72トン(あきだわら)

取組計画

生産対策

- ・栽培マニュアルの策定(効果的・効率的な栽培方法の確立等)及び普及啓発
- ・加工用米生産ほ場の見える化による取組農家の拡大
- ・生産者と実需者の連携強化(課題共有と解決手法の検討等)

販売額(28年度目標) 3.3億円(+200%)
農産物(酒米)と加工品(清酒)の販売額
・生産量145トン(あきだわら)